

Chateau Moulin de Peyronin

シャトー・ムーランド・ペロナン

なんと、1975年からビオロジックを実践する、ボルドー自然派の先端をゆく生産者!!
畑では羊が害虫や雑草を駆除します!!



2006年から再出発となるアペラシオン・ボルドーの2つの若い畑は、実は1975年からビオロジックだった畑でした。このシャトーはサンテミリオンの東、プジョル・スール・ドルトーニュにあり、カスティヨン・ラ・バタイユから南に6Kmほど下った場所にあります。20ヘクタールの土地を所有し、うち14haがブドウ畑。(11.5haが赤、2.5haが白に充てられています。)

シャトー・ムーランド・ペロナンは海拔75から80mの粘土石灰質というブドウ栽培の上で非常に恵まれた土地にあります。白の作付比率はセミヨン80%とソーヴィニヨンブラン20%(2008年時点で)です。

このシャトーはサンテミリオンの東、プジョル・スール・ドルトーニュにあり、カスティヨン・ラ・バタイユから南に6Kmほど下った場所にあります。20ヘクタールの土地を所有し、うち14haがブドウ畑。(11.5haが赤、2.5haが白に充てられています。)



徹底したビオロジック栽培

除草剤など、化学的なものを一切使用しないことで、安心して飲める優しいワインを造ります。また、この農法は土地の力を最大限生かすため、ブドウ自体のポテンシャルを引き出し、品質を向上させることにもつながります。

シャトー・ムーランド・ペロナンのポリシー

- 全ての農産物には、化学的な薬品等一切使用しない。
- 対処は事前に行う(例えば、バラを植える等して、病気が蔓延する前に察知し対処する、など)ことを基本とする。
- 害虫等に関しては、自然に基づいた方法で駆除する。
(薬品は使用しないので)

具体的には…

- 1 ビオロジック栽培、化学肥料は一切使用しない。肥料も有機のもの
- 2 畑の周りに垣根を造る。(周囲からやってくる被害を防ぐため)
- 3 畑の畝や周囲にハーブ、花を茂らせる。
これによって、畑の中に循環的な自然環境を再現する。
最近になって試み始めた方法。
- 4 畑の中に羊を放し、害虫や草を食べさせます。
これによって、除草剤、殺虫剤は必要なくなります。



「エコセール」

エコセール(ECOCERT)とは、フランスのトゥールーズに本社を置く**世界最大の国際有機認定機関**です。1991年にフランスの農務省認定機関として創立され、現在では80カ国以上の加盟国をもつ、世界最大の有機認定機関です。フランスでは生産者の70%以上が認定されています。また、ヨーロッパを中心に世界20カ国以上に認定機関を持っています。

認証には、科学除草剤や化学肥料などを**一切使わず5年以上の有機農法を続けて初めて認められるもので**、エコセールの表示を行うには毎年1回1日ばかりで、土壌検査から保管場所、添加物にいたるまで厳密な検査を行い、合格したものだけがエコセールマークをつけることができます。





ワイン名	Ch. Moulin de Peyronin Blanc
年	2009
地域	AOC Bordeaux
品種	セミヨン 80% ソーヴィニヨンブラン 20%
土壌	粘土石灰質
収穫量	55hl/ha
醸し	-
発酵	発酵前に一度低温で清澄し、果皮に付いた埃やごみを取り除く(デブルバージュ)。その後タンク内で17～18℃を保ちながらアルコール発酵を行い、澱と共に2カ月間熟成させる。
備考	1975年から実質ビオロジックの畑を所有。羊が除草、害虫駆除をする畑を試験的に実施、また野草、花を畑内に茂らせ、循環した自然環境を畑に再現する。
特徴	

